

スポーツ障害と安全管理	履修年次	1	
	単位	2	
江口 潤	配当期	後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>第1～2週にスポーツ概論、第3～4週にテーピングの理論と実際、第5～7週に救急法の理論と実際、第8～9週に身体の仕組み、運動の仕組み、第10週にスポーツマッサージの理論と実際、第11～14週にスポーツ外傷概論に取り組む。これらの学習により、スポーツ現場の外傷や傷害の発生に遭遇した時に、的確に処置できる一般人としての教養を高めることを目指す 尚、医学、衛生学などの専門的な内容は扱わない。この科目では、基礎的な知識習得と実習に限定する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・三角巾の活用、基礎的なスポーツマッサージやテーピングを実践できる。 ・日常生活に役立つ救急蘇生法を実践できる。 ・身体の仕組み、運動の仕組みについて説明できる。 ・スポーツ外傷、障害の機序を理解し、外傷・障害の予防法を実践できる。 			
成績評価の方法			
授業出席と参画度、授業外学習、小テスト、課題、定期試験の結果を総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	スポーツ概論	8	身体の仕組み
2	大学生の形態的特性	9	運動の仕組み
3	テーピングの理論	10	スポーツマッサージの理論と実際
4	テーピングの実際(足・膝関節の固定)	11	スポーツ外傷概論
5	救急法の基礎	12	頭部、頸部、体幹のスポーツ外傷
6	救急法の応用	13	上肢、下肢のスポーツ外傷
7	救急法の実践	14	スポーツ種目別のスポーツ外傷と先端医療